



輝かしい飛躍と発展の年に

羽幌町長 舟橋 泰博

新年 明けましておめでとございませう。輝かしい平成26年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、平素より町行政に対し温かいご支援とご協力を賜り、心から深く感謝を申し上げます。

本町では、一昨年に策定いたしました「第6次羽幌町総合振興計画（ほつとプラン）」及び昨年3月に策定いたしました「羽幌町離島振興計画」を基本として、「医療体制の充実」「雇用の創出」「産業の振興」の重点課題の解決と離島の振興を図るため、各種の取り組みを進めているところであります。昨年一年を振り返りますと、4月には、かねてから建設中でありました、羽幌港中央ふ頭並びに新フェリーターミナルが供用開始と

なり、合わせて、北るもい漁業協同組合様の新事務所並びに産直市場も完成され、羽幌港は大きく生まれ変わったところでありませう。新フェリーターミナルにつきましても、天売島、焼尻島への玄関口となりますことから、本施設と産直市場を拠点として、観光客や交流人口が増加されることを期待しているところであります。

8月には、地域における医療体制の充実を図るとして姉妹都市「内灘町」にあります金沢医科大学病院の医療関係者および内灘町の職員と「姉妹都市保健・医療交流事業」を行ったところでありませう。が、町民皆様の不安が解消されるべく今後においても引き続き医師等の医療従事者の確保のため、あらゆる角度から努力してまいります。また、11月には、地域農業の拠点施設となりますオロロン農業協

同組合様の本所事務所が完成したところでありませう。本事務所は、地域農業振興センター機能をもち合わせておりますので、農業者の皆様への利便性が向上するとともに、農業振興施策が効果的かつ円滑に進められるものと期待しているところであります。

さて平成26年は、中部3町村の懸案事項であります。し尿処理施設の老朽化に伴う広域ミックス事業が開始となります。また、後年度に予定する羽幌小学校の建て替え整備の検討についても最終段階に入っております。事業の実施に際しましては、町民の皆様が将来にわたり有効的に活用できる施設となるよう、また、子供たちをはじめ町民の皆様にご喜んでいたとだけよ、慎重に進めてまいりたいと考えております。また、基幹産業であります農業・

漁業につきましても、各種団体との連携はもちろんのこと、働く皆様の声に耳を傾けながら、効果的な施策と守り育てる環境づくりに努めてまいりたいと考えております。

今年が町長就任4期目の最後の年となります。本町をはじめ、地域においては依然として厳しい状況が続いておりますが、本年が新たな飛躍と発展の年になるよう全力を傾け、職員ともども町民の皆様との協働による「まちづくり」に取り組みたいと考えております。

最後に、町民の皆様には、今年一年健康には十分ご留意いただき、明るく生き生きと楽しく暮らすことができ、町にとつて、そして皆様にとつて、良い一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



地域課題の解決に向けて

羽幌町議会議長 室田 憲作

新年明けましておめでとございませう。輝かしい新春を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。また日頃から議会活動に対する温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、第2次安倍政権による経済政策アベノミクスが打ち出され、金融緩和、財政出動、成長戦略という二本の矢が矢継ぎ早に放たれ、景気回復とデフレ脱却に向けた力強い歩みが始まった元年でありませう。

政治・経済のみならず、文化・スポーツの分野においても慶事が続き、富士山の世界文化遺産登録、2020年東京五輪招致決定のニュースで国内は沸騰し、国民に大きな喜びと感動を与えてくれました。

さて、わが町に目を転じますと、昨年は長年の悲願であった羽幌港中央ふ頭が竣工し、新フェリーターミナルと北るもい漁協本所・卸売市場の新設と相まって、新たな港エリアが誕生しました。併せて新高速船の就航や海底探勝船の復活も低迷する離島観光の再生に一役買い、今後の展開に大きな期待を寄せているところであります。

また、オロロン農協本所事務所も新設され、地域の農業経営の中心としての役割が期待されております。ソフト面においても、医療体制の充実、雇用の創出、産業の振興を重点課題に掲げた第6次羽幌町総合振興計画に基づく諸施策が、関係条例の制定を通じて実施に移され、着実な成果を挙げつつあります。

本年は、羽幌小学校建替事業が基本設計から実施設計へと移行し、いよいよ建設工事に向けて校舎の全容が整うこととなります。わが町の未来を担う児童の学び舎として未長く活用されるよう、関係者の総意を結集してまいりたいと考えております。

また、泉字園による認定こども園の建設工事も進み、4月開園の予定であります。当面は羽幌保育園、藤幼稚園との共存が続くこととなりますが、望ましい就学前児童施設のあり方について、更なる審議・検討が必要と考えております。

この外、焼尻めん羊牧場の経営やハートタウンはぼろのあり方、広域ミックス処理施設や産業廃棄物最終処分場の設置といった大きな課題も抱えており、議会としても町民

各層の意見に謙虚に耳を傾けながら、問題解決に向け真摯に対処してまいりませう。

「過去に例がないほど難題が集中する」と安倍首相の側近が漏らしたとのことではありますが、羽幌町もまさにそうした状況にあると思っております。今こそ、行政、議会、住民が一体となり、地域が抱える諸課題の解決に向け、一丸となつて取り組んでいかなければならない時であると考えております。本年も、「行動する議会」を標榜し、町民の負託に応えるべく、皆様の声を施策に反映してまいりたいと考えております。迎えました新年が、皆様にとつて健やかで幸多き年でありませうようお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。